

“今こそ、職業教育の時代！総合学科だからできる「夢の実現」をめざして”

制服リニューアル、そして2人担任制導入による面倒見の良い学校へ…

生まれ変わる“西高”でチャレンジしてみませんか！

新潟県立小千谷西高等学校のホームページを御覧いただき、大変ありがとうございます。

本校は、昭和39（1964）年に創立され、平成14（2002）年度には総合学科に学科改編し、今年度で62年目を迎え、1万3千人を超える卒業生が各界で活躍しています。

創立以来「自主自律の精神を持った個性豊かな人間形成」を教育目標とし、「夢、天高く」をスローガンに、生徒一人一人が自己の興味・関心や適性を理解し、自ら将来を見据えて学ぶ意欲と力を育て、未来の創り手として社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

総合学科である本校では、普通教科・専門教科にわたって多くの科目が開設されています。

1年次は基礎科目、2年次からは進路希望や適性に応じ、自己にふさわしい科目を選択、個に応じた時間割を作成して学習します。前身の普通科・家政科・電子科の流れを受け継ぎながら、選択科目は、「人文科学系列」、「自然科学系列」、「メカトロニクス系列」、「生活・健康系列」、「芸術文化系列」の5つの系列に分類して授業を展開しています。

特に総合学科の強みである、1年次の科目「産業社会と人間」で「働くことの意義」を学び、「求められる社会人」として不可欠な資質・能力を身に付けます。また、2年次のインターンシップや科目「キャリア実習」等、地域と連携した各種イベントに積極的に参加しています。これらの体験をとおして、将来幾多の困難にも対応できるための術（すべ）を身に付け、夢を実現するための自己の生き方、将来を考えるキャリア教育を実践してまいります。

新潟県の大学進学率が50%を超え2人に1人が大学進学する一方、物価高で厳しい経済状況が続く中、多くの企業では人手不足であり、優秀な働き手、人材を求めています。言い換えれば、「今こそ就職するチャンスである」とも言えます。

このように大学等上級学校をはじめ、公務員や民間企業等、就職にも強い高校と言われるよう「進路指導は、生き方指導」と捉え指導してまいります。その進路指導の根幹、基盤となるのが「生徒指導」であると考えています。高校は「社会に出るまでの訓練の場」、また「未来社会を生き抜く力を育む学び舎」として社会で通用するよう、厳しくもきめ細やかな配慮で親身に鍛え育て、社会に送り出したい。高校卒業後を見据え、社会人となる前に学びを深め教養を身に付けるために大学等への進学もよし、即戦力として社会に貢献するための就職もよし、3年間どう過ごすかは皆さんの心がけ次第です。私たちは、**ひたむきにチャレンジする皆さんの伴走者として支援**してまいります。

また、将来予測できない、答えのない課題解決のために、授業や様々な教育活動をとおして主体的に考え、協働的に学び、探究することで、最適解を見つける力を育ててまいります。

さらに、保護者の皆様と連携し教職員一同「生徒第一」を合い言葉に教育にあたります。

具体的には、多様性を尊重して様々な価値観を認め合う雰囲気をつくり、かけがえのない命の大切さや、いじめを許さずいじめ見逃しゼロを訴え、他者への思いやりや自己肯定感の醸成等に努めます。そうすることにより、安全・安心な学校づくりをめざし、誰一人取り残すことなく、生徒がたくましく成長できるよう親身に丁寧に支援してまいります。

結びに、**今年度入学生から制服をリニューアル**して社会人としての身だしなみ、着こなし、おしゃれにも気遣う美的センスある生徒を育てます。また、**2人担任制を導入して多面的な生徒理解や生徒支援**を行い、**面倒見の良い学校**をめざしてまいります。

中越地震発生20年、総合学科開設30年の節目を経て、小千谷市が震災から復興したように“西高”も時代の変化に対応し生まれ変わります。なお、**9月29日(月)・10月20日(月)にオープンスクール開催予定です。**このホームページを御覧いただき、本校への入学を考えている皆さんや、興味・関心のある保護者の皆様、地域の皆様にとって、高校選びの最終的な決断に向け、本校についての理解を深める一助となれば幸いです。



令和7年4月1日



新潟県立小千谷西高等学校長 白藤 恵一